

〈午後 1 時 5 5 分 休憩〉

〈午後 2 時 0 5 分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、保坂 悟議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。〔11番 保坂 悟君登壇〕

○11番（保坂 悟君）

公明党の保坂 悟でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、糸魚川市の課題解決について。

(1) 官製談合について。

① 犯行動機が新駅開業日に間に合わせるため、入札の不調を避けるためとあるが、工期の設定（スケジュール）に何か問題があったのか。

② 新駅トイレ工事以外の余罪について、市はどのように扱うのか。

(2) 歴代副市長の任期途中の辞任について。

藤田副市長の「頼むね」発言の根本原因は米田市長への忖度と思うが、歴代副市長が任期途中で辞めていること自体を、市長はどのように受け止めているのか。また、理事者の働き方改革を行う考えはあるか。

(3) 市内の企業間談合について。

元営業部長の供述によると、15年ほど前の前任者からの引継ぎ時から談合があり、逮捕されるまで継続されていたとのことである。この期間の不正入札により、市民の税金が予定価格に近い高止まりした金額で落札されたと考えた場合、市は警察に被害届を出すことになるのか。

(4) 旧姫川病院の廃墟について。

① 6月1日の火災発生の原因は分かったか。今後の対策はどうするのか。

② 廃墟の解決方法について、懸賞金を出して全国からアイデアを募集する大会を開催する考えはあるか。

③ 廃墟マニアツアー等で、廃墟を生かす研究を行う考えはあるか。

2、子育て支援について。

(1) 新生児の聴覚検査費用の助成について。

県では検査の推奨のみで自己負担となっている。兵庫県加古川市のように検査の種類別に助成を行う考えはあるか。

(2) 子供の弱視予防について。

厚生労働省は8月13日に「屈折検査」を3歳児健診に導入を促す方針を固めた。当市の弱視予防の現状と専用の機器等を拡充する考えはあるか。

(3) 出産一時金の拡充について。

厚生労働省によると、2019年度では現行の42万円で賄い切れないことが判明している。市として増額に向けた取組を行う考えはあるか。

(4) 保育園の入園基準の緩和について。

時代とともに多様化した生活様式や新たな価値観がある。若い祖父母との同居について、条件付で緩和をする考えはあるか。

(5) 奨学金の企業肩代わり制度（代理返還制度）の周知について。

今年4月からの代理返還制度は社員等にとってメリットがある。人材や定住人口の確保の視点から積極的に周知する考えはあるか。また、今年度4月から市内での導入件数は幾つか。

3、新型コロナウイルス（デルタ株）感染症対策について。

(1) 予防接種対象外である12歳以下の対策について。

県内では10歳代や10歳未満の感染が報告されている。予防接種対象外者の感染拡大防止についての取組はあるか。

(2) 予防接種キャンセル分の扱いについて。

東京都港区で集団接種会場の看護師3人が、無断で3回目のワクチン接種をした報道があった。その後、国や県からのキャンセル分の扱いについて、新たな見解や指示はあるか。

(3) パルスオキシメーターの配備と貸与制度について。

① 病床確保の問題がある中、市と県の保有数はどれくらいあるか。

② 自宅療養の家族に1台を貸与する制度は考えているか。

(4) 経済対策について。

① 元気応援券の利用は9月30日までであるが、利用率の低い場合の対策は考えているか。また、年末年始の手だては考えているか。

② ワクチンパスポートの電子化と市内の商業施設等での活用は考えているか。

③ コロナ禍のサテライトオフィスについて、特色のある取組を考えているか。

4、気になる子供たちへの支援について。

(1) 市内小中学校の現状について。

① 気になる子供の人数の割合について、調査や研究を行っているか。

② 教職員の配置や加配について、過不足の実態調査を行っているか。

③ 教職員の毎年行う研修内容は、現場で生かされているか。

(2) 家庭と学校との連携について。

① 家庭が求める教育と学校が提供できる教育についての調整は、どのように行うのか。

② 二次障害の防止について、理解を深める取組はあるか。

(3) 教職員の現場に合ったサポート体制について。

① 学級崩壊の状態が起きた場合の支援策はあるか。

② 発達障害等は症状が様々なため、教職員が対応できない場合や対応が分からないときに、どのような支援が行われるのか。

(4) 市民全体で考える取組について。

① 様々な症状に合わせ取組を行っていることを周知しているか。

- ② 気になる子供について、理解を広げる取組を考えているか。
- ③ 市内の年代別割合の把握と中長期的な生活支援の計画はあるか。

5、高校の魅力づくりについて。

(1) 市内スポーツ施設の高校生使用料の軽減について。

特に野球場使用料の軽減を求める声がある。SDGs やジオパーク等の宣伝活動を行うことで使用料を免除する考えはあるか。

(2) 県立高校のいじめ問題について。

今年6月議会一般質問の通告書公開後、糸魚川高校の元教頭である斎京県議より連絡があり、2回目の質問は控えた。定例会後、斎京県議と被害者の保護者から別々に話を伺い、整理することができた。

- ① 高校が設置した第三者委員会の報告書に、守秘義務のある内容が保護者の同意を得ないまま書かれていること。
- ② いじめの有無について保護者と教職員の見解に相違があり、平行線から対立関係に発展したこと。
- ③ 高校側では「いじめがない」ことを前提として報告書を作成したこと、スポーツ保険等の事務手続を行わなかったこと。
- ④ 過去のいじめ事案とその解決方法の先入観が強く、高校で起きたいじめからの飛躍があったこと。一方、いじめ担当教員の負担が非常に大きく健全とは言えないこと。

結論として、これらの問題を踏まえ「いじめ解決の専門職員の派遣制度」を市としても県に強く求める考えはあるか。

6、気になる事業の取組について。

(1) 選挙の対応について。

- ① 視覚障害者用選挙公報の改善はできているか。
- ② 選挙ポスター掲示板で危険箇所の改善はできているか。
- ③ 選挙ポスターのデジタル化の推進は行うか。

(2) 観光のアフターコロナ戦略について。

- ① 権現荘とマリンドリーム能生の経営で考えていることはあるか。
- ② 2つのスキー場の経営で考えていることはあるか。
- ③ 観光協会、鉄道会社、バス会社の3者連携による子供が集まる仕組みや仕掛けについての取組やビジョンはあるか。

(3) 糸魚川市と動物愛護活動団体との連携について。

- ① 今年度、団体による保護活動で去勢や避妊手術の件数が多くある。その背景と問題点を分析しているか。
- ② 猫のふん尿被害が多いと伺っているが、現状を把握しているか。
- ③ 動物愛護活動の周知は、定期的に行っているか。
- ④ 空き家や空き地におけるハクビシンやイノシシ等の動物被害対策が必要と考えるが、何か取り組む予定はあるか。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

保坂議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目の1つ目につきましては、工期の設定には問題がなかったものと考えております。

2つ目につきましては、新駅トイレ工事以外では立件されておりませんが、市として可能な範囲で調査してまいります。

2点目につきましては、在任途中で辞職されたことは、私自身も重く受け止めており、非常に残念でございます。

3点目につきましては、今回の事件において捜査がなされ、立件に至らなかったものだと考えておりますが、届出等は、可否も含め検討しております。

4点目の1つ目につきましては、原因は特定できませんでした。今後も警察と情報共有しながら、防犯パトロール等に取り組んでまいります。

2つ目と3つ目につきましては、活用の考えはございません。

2番目の1点目につきましては、95%以上の新生児が聴覚検査を受けていることから、検査費用の助成は考えておりません。

2点目につきましては、3歳児健診で視力検査や小児科医の診察を実施し、精密検査が必要な場合は、医療機関につなげております。また、専用機器の導入について検討してまいります。

3点目につきましては、国において今年度の増額が見送りとなっており、市として、国に対して増額の要望をしてまいります。

4点目につきましては、現時点で判定基準を見直す予定はございませんが、世帯の状況等により、柔軟に対応しております。

5点目につきましては、市内企業に制度概要等を周知してまいります。

なお、市内での導入件数については、非公表であり、把握しておりません。

3番目の1点目につきましては、保育園、幼稚園、小中学校の職員に対してワクチンの優先接種を行っております。

2点目につきましては、ワクチンが無駄にならないよう希望される方への接種に努めており、国・県からの新たな指示はございません。

3点目につきましては、必要とする自宅療養の方には、県から貸与されております。また、市でも6台保有しており、不足する場合は迅速に対応していきたいと考えております。

4点目の1つ目につきましては、特別警報の全県への拡大を受け、元気応援券の使用期限を10月31日まで、1か月間延長いたしました。また、年末年始の経済対策として、プレミアム商品券の発行を予定いたしております。

2つ目につきましては、国等の動向を踏まえて検討してまいります。

3つ目につきましては、美山公園内のオフィス整備のほか、民間事業者と連携して取組を進めてまいります。

4番目と5番目のご質問につきましては、この後、教育長から答弁いたしますのでよろしくお願

いたします。

6番目の1点目の1つ目につきましては、選挙公報の内容をテキストデータにして配付いたしております。

2つ目につきましては、危険である場所等について、随時、設置箇所を変更してまいります。

3つ目につきましては、国の動向を見ながら対応してまいります。

2点目につきましては、国や県の観光キャンペーン等の経済対策を活用しながら、広域連携によりインバウンドを含めた誘客に努めてまいりたいと考えております。

3点目の1つ目につきましては、県や愛護団体などと意見を交換しながら分析いたしております。

2つ目につきましては、市民からの連絡や県などと情報共有を行う中で把握しております。

3つ目につきましては、広報などで定期的に行っております。

4つ目につきましては、猟友会と連携しながら捕獲等の対策を行っております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

 蘆本教育長。〔教育長 蘆本修一君登壇〕

○教育長（蘆本修一君）

4番目と5番目について、ご説明いたします。

4番目の1点目につきましては、修学支援委員会における審査により、対象となる子供の人数の割合を把握しており、学級編成、教職員の配当に関わる調査結果を次年度に反映させております。

また、研修については、職種ごと、年齢層ごとに行い、業務に生かしております。

2点目につきましては、保護者との面談やケース会議を通じて共通理解の下、計画的に個別の支援策を検討するなどの調整を行うとともに、二次障害とならないように特性理解と自己肯定感を持たせる支援を途切れなく行っております。

3点目につきましては、学校からの情報や計画的な訪問、参観を通して実態を丁寧に把握し、指導主事が学級づくりについて支援したり、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、生徒指導支援員などを派遣したりなどして、ケースに応じた支援を行っております。

4点目につきましては、子ども一貫教育基本計画のライフステージにおける発達支援として、乳幼児期、学校教育期、就労期の支援のポイントを示し、広報、ホームページ、各種講座を通じて市民に周知するよう努めております。

続きまして、5番目の1点目につきましては、市内の高等学校が行う活動については、クラブ活動も含めて、教育活動の支援を目的に使用料の半額を減免しております。

2点目につきましては、いじめの未然防止、早期発見、解消に向けて、これまで以上にスクールカウンセラーなどの専門家の派遣により、学校の負担が軽減されるよう、折に触れて要望してまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

お願いいたします。

まず、官製談合のところでございます。先ほど工期には問題がないというふうに答弁いただいたんですけども、工期に余裕があれば、だから官製談合する必要がなかったのかなと単純に考えるんですけども、その辺は市としては、どういうふうな受け止め方してますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

糸魚川市が発注する工事の工期の設定は、県が定めた基準、建築工事の標準工期というものを準拠しております。この標準工期では、建物の延べ面積ですとか構造等によりまして、工期が決定されます。また、特殊な構造でありますとか、県が定めた設定している建物の規模から外れる場合には、職員のほうで工程表を組み、必要な工期を算定するというふうに定められております。

押上駅の場合にこれを当てはめると、構造は一般的な木造建築物でございますが、面積は県の設定に比べてかなり小さいものでございます。ですので、職員のほうで過去の事例等を参考に、工程を組んだものでございます。県が定めた基準の一番小さい規模で設定される工期が116日、私どもが過去の事例等から設定した工期が110日ということで、工期の設定に関して、私ども無理を強いたということはありません。

ただ、現場としては、えちごトキめき鉄道との工事との工程の調整ですとか、かなりいろんな制約のあることで、開業日に間に合わせるために業者の方には頑張っていたいただいた工事であるというふうに私どもは認識しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

ということは、えちごトキめき鉄道とのいろんな制約が、非常にプレッシャーをかけたんだという認識でよろしいですかね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

プレッシャーといいますか、ほかの何もない公園の中のトイレのような工事であれば、周辺に安全を確認すれば自分たちの都合のいいときに工事ができるのですが、今回のように狭いところのよ

うな環境でということ、1つの現場に複数の業者が入るとい、そういう意味での制約というものはあったと思いますが、それは建築工事では結構ありがちな、電気ですとか設備にいろんな工事がふくそうしますので、ありがちな工事ではあったということなんですが、そういう制約で、決してゆとりの、本当にゆとりのある仕事ではなかったというふうなことでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

そういう場合で言いますと、次、五十嵐総務部長にお伺いいたします。

部長の入札の考えは、高止まり入札よりも入札不調のほうを心配していると答弁をいただいております。設計担当者や入札担当者にプレッシャーを与えたような、これまでの指導とか、そういう対応というのはあったものか、また、今回、新駅の開業ということで、特別な案件であったという部分は、私も何となく雰囲気は分かるんですけども、一応、市の幹部からすれば、入札不調というものに対しては、特段回避するような指示というか、そういうことは行っていたのか、その辺教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

私のほうで入札の状況を見る中で、心配しているのは、不調の件について心配してるよというお話を前にさせていただきました。といいますのは、不調となるとやはり、まず設計書等を一から見直して瑕疵がなかったのか等を再度点検し、再入札にかけるといことになると、やはり職員にもそれ相当の負担もかけますし、入札の時期についても、おおむね1か月程度遅くなるということで、そういうのがなければいいなということで、入札の状況を私のほうは見させていただいたというものでございます。

そのことについて、私のほうが職員に対して不調になるなとか、不調にするなとかという話は、一度もしたことはございませんし、不調になるとそういう大変な面はございますし、知ってのとおり市の会計というのは、年度予算というものもありまして、やはり3月31日を超えるような形になると、やはり繰越しの手続とか、あと補助金等を頂いてる事業であれば、また、国・県等の相談が発生するなど、そういう面で少し大変な面が出てくるということで、不調になるのを私のほうは心配してたというか、そういう部分について入札の状況を見ていたというものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

五十嵐課長にお伺いしますけども、昨年度までの建設課において、入札不調に対するプレッシャーとか、そういう大変になるという、そういう雰囲気というのは、建設課の中で蔓延してたという、

そういうのはありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

課の中に不調というものを極端に恐れるという空気、それは技術屋の中にも特別なかったかと思えます。

ただ今回は、3月13日に新駅が開業する。100年に一度あるかないかのことということで、ぜひその開業日には、トイレも駅もみんな使えるような状態にしたいということは、私どもだけではなくて、施工者のほうも同じ共通意識を持って取り組んだものというふうに、私は考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

そういう思いというのは、入札する時点、要は予定価格が決まった時点で抱くものなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

技術屋の観点からいたしますと、早く現場に入って、今まで机上でやってきたいろんな仕事を早く現場に反映させたいというような、そういう気持ちは、私はあるかと思いますが、入札で業者が決まらなかったということに関して、特別、また設計を見直したりという手間暇はありますが、それに対する後ろめたさとか、そういう気持ちというのは、技術職員というのは持ち合わせていないものだというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

工事の期間が冬をまたぐということで、冬期間の心配というのはあるんですが、当時の工期の設定というのは、その辺も全部加味して大丈夫だった日数という認識でよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

やはり冬に年明けのようなドカ雪が降ってしまうと、かなり現場の進捗に影響がございます。

ただ、前回もお答えした記憶があるんですが、今回、エリア全体として、えちごトキめき鉄道さんのほうの新駅の設置工事の体制の中でやるということで、逆にそういう気象条件も、ある程度、海岸平野部でしたので、ある程度除雪すれば、作業は幾らでも可能な建築工事ですので、作業は可能でしたので、その辺の心配はなかったというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

これは、話戻して全体に質問しますけども、市の中では入札不調の心配もさることながら、高止まりになってる落札について疑問を持ったり、それについて過去に話し合われたケースとかというのは、ありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

入札の、いわゆる落札率が高止まりしているという部分については、私のほうで過去のほうでお答えしたように、予定価格から最低制限価格の中に入っているなというぐらいの認識しか、申し訳ないんですけども、持っていなかったというのが実情でございますし、そのことについて私の知ってる限り、過去にそういう、庁内でそのことについて検討したということはないというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

今後、今回の事件を踏まえてですけども、部長というよりも市長ですかね、入札不調に対する市の考え方とか対応は、今後どうしたらいいのか。今、第三者委員会で調査してますけども、今この時点で不調に対する考えとか高止まり、要は100%未満、以下ですから、条件的にはクリアしてるわけなんですけども、こういった状態をどう改善していったらいいのかと現時点で何か考えとかあれば、教えていただきたいんですけども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

不調に関しては、先ほど五十嵐都市政策課長、言っとったように、技術屋の観点では、特にそれは恐れるものではないよということと言っとったんですけども、不調というのは、基本的には、あってもいいんだよという部分をやはり職員共有で持っていくことということで、そうなってもやる手だては幾らでもあるんだよということを職員が共通認識として持っていくことが、ひとつ重要だというふうに思っております。

それと高止まりという部分に関しては、いわゆる第三者委員会の中でもお話が出ていたように、やはり入札を監視する機能が、やっぱり強化する必要があるんじゃないかというお話も出ております。私ら市としてもそのように感じておりますので、そういう部分で入札を監視する機能なり体制を、外部委員会を設置するとかというようなことで強化してまいりたいというふうに考えておるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

監視を厳しくするのは、私も大賛成でありますし、ぜひ設置に向けて行動していただきたいと思っています。

次に、新駅トイレ工事以外の余罪という言い方をさせてもらってますけども、8月18日の初公判の久保田氏の供述では、新駅トイレ工事以外でも予定価格の漏えいを行っている。官製談合の第三者委員会では、当然遡って調査を行うものと考えておりますが、市長としては、ご自身の4期16年を調査するという、そういう指示を出す考えはありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

公判の中でそのような発言があったということをお聞きいたしておまして、それはやはりもっと詳しく内容を調べてみる中で、どこまで調べるかということは別にいたしましても、調査をしてみたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

よく期間が分からなかったんですけど、要は市長在任期について調査するという認識でよろしいですかね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

以前もやはり職員で調査をしてみたようでございますが、もう一度できる限り調査をしてみたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

できる限りというのは、私の場合、在任期と受け止めますのでよろしく願いいたします。

次に、久保田氏は、単独犯ということをお初公判のときに強調されておりました。

ただ、ちょっと気になるのは、特定の会社に絞った情報漏えいではなく、入札の不調回避の目的で対応していたというふうな供述になっております。その言葉どおりだとすると、糸魚川市の仕事を受けている全ての建設業者に確認する必要があるのかなと単純に思います。

こうなってきましたと、非常に大きな問題になるんですが、今回の第三者委員会でもアンケートを採るというような話も伺っておりますので、その辺はかなり丁寧に、特定されると、またなかなか話が変わってくるものですから、ただ、ある程度具体的な質問をして、おとがめがあるのかなのかということも、ある程度明言してあげないといい回答は得られない。要は再発防止にならないということで、そういったところをちょっとアンケートも工夫しながらやっていただきたいんですけども、その辺の考え、第三者委員会とのまた連携、どのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

やはり再発防止を図るためには、実態を明らかにしたいというふうに思っております。

ただ、捜査権がない状況では、やはり実態を明らかにする手法として、第三者委員会のほうでもお話しされとったように、やはり匿名性を条件にアンケートを採る方法をひとつやるしかないのかなというふうに思っております。そういう中で、現在、アンケートの中身について、また第2回の第三者委員会でご意見をいただいておりますので、その内容を織り込んで、今、委員の皆さんなりとどういったアンケートがいいか、最終的に詰めてる段階でございます。そういう中で過去の実態がどうだったかという部分で明らかになってくることにより、よりよい公正な入札制度をつくってまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

また、初公判でのことではありますが、久保田氏は、第三者委員会自身で自身の考えを述べたいと発言をしておりました。それは、執行猶予をつけてもらうための言葉なのか、本気で官製談合を糸魚川市からなくしたいという言葉なのかは、ちょっと分かりませんが、少なくともそういう発言をしております。

市としては、久保田氏の考えを聞く機会を設けるような、機会を設ける考えはあるのか。第三者

委員会のほうでそういうふうに通ずるのか。その辺の現時点での考えをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

久保田の初公判の中で今、議員おっしゃったような、少なくとも二度とこういうことを、私のようなことを起こしたくないと、それについては考えてることもあるという話を公判の中ではしておりましたので、市としてもどういう部分でそういう、二度と起こさないような方策を考えてるかという部分については、ぜひとも機会を設けてお話を聞きたいというふうに思っているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

本人がせっかくそうやって言ってるものですから、ぜひそういう機会を設ける方向で努力していただきたいと思います。

次に久保田氏が入札不調を回避するために犯行に及んでいるんですけども、久保田氏と同じ環境、同じ役職、いわゆる前任者、またその前の前任者ぐらいから、久保田氏と同じように悩んでいるとか、そういうような入札不調に悩むだとか、期限に間に合わなきゃいけないとかという、そういうものというのは、その役職に就いたが故の悩みというか、そういったものがもともとあったものなのか、今回ぽっと出てきたものなのか、その辺の分析というのは、どのようにしてるものでしょうか。結局もう次になる人、こういう事件になることを考えると、非常に心配されると思うんですね。やっぱりそういったところの職場環境改善というのも必要かと思うので、その辺の分析をどのように捉えているか教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

久保田の前任なり、前々任の係長が、どのように考えてたかという部分については分かりません。先ほど申し上げたように、不調になっても幾らでも次の手があるんだという部分を、先ほど申し上げたように職員の共通の認識としていくことによって、少なくとも不調を恐れてのこういうような犯罪につながるようなことは、二度と起こさないようにしてまいりたいというふうに考えるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

ちょっと1つ飛ばして（3）番の市内の企業間談合について、お伺いいたします。

猪又建設の営業部長の古川氏は、ほかの会社に自分のとこの1,900万円よりも高くするように指示を出しているという供述がございます。ということは、談合の序列というのがあって、猪又建設は上位にいるのかなというふうに推測できるんですけども、こういった企業間の上下関係の関係性みたいなものというのは、市としては、何ていうのかそういうところって把握というのは、できてるもんなんですかね。やっぱりあくまでも企業間なので全くそういう力関係みたいなものは分からないということなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

企業間の、いわゆる力関係という部分については、私ら市としては全くというほど分からないというのが実態でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

ちょっと非常に聞きづらいんですけども、聞きますけど、市長、後援会のメンバー、かなり建設業界の方おられるようですが、そういった力関係とか序列とかというのは、何か感じるものとかありますかでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

会社の規模の差はありますが、やはり入札というような形になれば、私は平等の権利の中で対応できるものと捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

また、猪又建設の元営業部長の古川氏も、談合はもう終わらすべきだと。なくすべきだというような供述をされておるんですが、また、彼に対してもそういった、もう十五、六年前から現在に至るまで談合があったということを認めておるんですけども、そういった中で、これまた何ていうのかな、第三者委員会になるんでしょうけども。そういったところで、もし本人の希望と合致すれば、そういう当時の聞き取りというんでしょうか、そういう証言なりをそういう委員会で、またそういう機会を設けるという考えは、先ほどの久保田氏と同じようにそういう考えはありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

元猪又建設の古川氏については、十五、六年前に営業部長の職を引き継いだということで、いわゆる公判の中では、大火以降ですかね、直接職員のほうへ聞くようになったという話だったというふうに私は思っております。

ただ、古川氏についても、今、議員述べたように、もうなくすべきだというようなお話もされておりましたので、本人から話を聞ける状況であれば、市としてもお話を聞く機会を設けてまいりたいというふうに考えておるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

今、五十嵐総務部長おっしゃるとおり、私も記憶の中では、たしか久保田との連携というか話し合うようになったのは、大火のときだというのは聞き及んでますので、そこは一応確認のためおっしゃるとおりだと思っております。そうであれば、またそれ以降のことを聞くということも1つの観点かなとは思いますが、また、それでも聞いていただければと思います。要は、構図が分かればいいのかと思っておりますので、ぜひやっていただきたいなと思います。

そこでちょっと気になっているのが、（2）番にも触れるんですが、古川氏の証言の中で、東京の設計の仕事というか、それがこちらの大火でも急転直下、急いでまちづくりというか復興しなきゃいけないということで、東京の設計がたくさん入ってきたんだと。向こうの物価というんですかね、価格帯と糸魚川の価格帯では、糸魚川の適正価格では対応できない。向こうのは1割から1割5分安いですかね、競争が激しいから。とてもじゃないけどできないということで、久保田のほうに連携取って、価格を聞いてというんだ。そのくんだり、何となく分かるんですけど、だからといって価格に、市内の工事なんで、そこまで東京の影響があるのかなと、ちょっと疑問はあるんですけども、そのときに木村副市長の名前が出てきたんですね。それがどういうふうに関連してるのかというのは、ちょっと聞き取りにくかったんですが、皆さんのほうでは、その関連性というんですかね、副市長の何が問題だったのかというのをどのように捉えてるのか、ちょっと教えていただきたいなと思うんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

私のあくまでも感じ方ということで、お答えさせていただきたいと思うんですけども、その証言の中では、東京から新しい副市長が来て、補助金つきの仕事、復興ですのでいっぱい持ってきたという中で、木村元副市長の名前が上がってきたのかなというふうには感じております。

それと東京のほうの設計という部分については、私のほうからでなくて、技術的な観点でございますので、担当のほうの課長のほうから答弁をさせていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

引き続きお答えさせていただきます。

東京の業者のほうには、これからの事業規模とかそういうのを算定していく上で、概算の工事費というものは、業務委託の中であったかと思えます。

ただ、実際に発注する際には、それにそのまま糸魚川市のラベルをつけて発注するのではなくて、県の単価ですとか見積り等を取り直しまして、こちらの糸魚川市、新潟県に合った単価構成として発注しておりますので、古川氏があのように発言したという真意については、私はちょっと分からないという状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

そうなんですよね。だからちょっと納得いかないような供述だったと私も思ってますので、ぜひそれも聞ける機会が設けていただければ、ぜひそのときに確認しておいたほうが糸魚川市のためにもなるかと思えますので、ぜひ取り組んでいただきたいと思います。

あと2番の歴代副市長のことで、過去に織田副市長、その木村副市長、今回、藤田さんもそうなんですけども、連続的に途中退任ということで、非常に何か、何でこんなことになってしまうんですけども、市長はこれまでの、こういうのを受けて、やっぱり自分の取ってる、何ていうか姿勢について何か問題あるとか課題があるとかと、そういう捉え方はしてますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

一緒に仕事をしてきたブレーンとして、そして片腕として仕事をやってきた方が、非常に途中で辞任されるということは非常に私としては残念であり、そしてまた、このことは非常に重く受け止めておりまして、1回目にお答えしたとおり、そのような気持ちでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

すみません、ちょっとごめんなさい、市長の言葉、聞き取りにくかったんですけども。

今回、藤田元副市長に関して言えば、頼むねという発言について、たしか6月24日の総務文教常任委員会のときだったと思うんですが、頼むね発言について、市長は小っちゃな声で、それどう思うんだと、なんかありがたいとかって述べてたような記憶あるんですけども。あまり公の場で言

う言葉ではないなという印象が残ってるんですが、今思えば市長は、藤田副市長に対して、ご自身の選挙支援の依頼と捉えられるような話し方をしてたんじゃないかなって思うんですけども、その記憶はありませんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

大変声が小さくて申し訳ございませんでした。

非常に私といたしましては、この仕事を一緒にやってきた一つの片腕であり、ブレーンである副市長が、任期途中で辞めるということは非常に、これは私にとっても非常に重く受け止めておる次第でございます。

そして、やはり私は、副市長には依頼したことは一切ございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

多分そうなんだと思う。市長は、依頼したつもりはないんだと思うんです。

ただ、その表現とか、何ていうのかな話したときの背景だとか、そういったものが結局、藤田元副市長にしてみると頼まれたという感覚に映ったんじゃないかなというのがあって、今お聞きしてるんです。もともと市長は、頼んだもの、依頼したことはないと以前も答えておるんで、それはそうだと思うんですけども、何ていうか相手の受け止め方によっては、そういう場面が出てくるのかなって思ったんですよ。そういう背景とか状況とかあったんじゃないかなって思うんですが、それは記憶にないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

ほんの短い立ち話でございまして、そのように長く話した記憶はございませんし、端的にそのような状況を、選挙の状況を話ただけで終わっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

私個人的な受け止め方なんですが、私が知ってる藤田元副市長というのは、なかなかそういう部下にお願いするというのが、全然想像できない方でして、むしろ財政に厳しくて、私もいろいろ要望しても跳ね返されるような方で、そういうちょっと頼まれたからそういう、頼むねなんていうの

は、最初ちょっと想像つかなかったんですけども、よっぽど多分、市長の話した状況が、特殊な背景で話したんじゃないかなって思っただけなんで、そういうつもりでさっきは質問させていただきました。市長は、首尾一貫して依頼した覚えはないというのは、私も認識しているつもりなので、それを一応確認のためにも言っておきます。

この件は、これぐらいにして、次、行きます。子育て支援についてであります。

姫川病院がありましたね、ごめんなさい、姫川病院、少し聞かせてください。戻ります。

6月1日の火災があって、原因が分かってないということなんですけども、やっぱり地元では非常に火災が起きたことによって、すごく不安視する声があります。かなり強いことも言われておられて、区としても、市のほうに相談させてもらって、いろいろ状況聞かせていただいとるんですが、その区の要望の後にもかなりいろんな方には言われまして、要は、こういった大きな廃墟みたいなものがあると、やっぱり地域のイメージも悪いと。何としても解決してもらえないかと。

私の鈍い考えでは、人の土地のものをどうのこうのするというのは、無理だというふうには説明したんですが、ただ、入ると不法侵入になるという言い方もされるんですよ。それを、あと地権者もいるという、いろんな条件が、逆につまびらかになってないから解決の糸口がつかめないのかなと思いますので、それと今、何が課題になってるかというのものも、ある程度公表しながら、人の知恵を借りながら問題解決できないかなということ懸賞金つきという、ちょっと破天荒なやり方かもしれませんけども、そういう取組、ぜひちょっとやってみたらどうかなと思ったんですけども、その辺考えいかなるものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

確かにこれもずっともう長い間の問題であることは、承知はいたしております。地元の区長さんからも、何とか防犯上の問題もあるので、何とかしていただけないかという声はお聞きしておりますので、そういったパトロール等のところは、また順次進めていかなければならないと思いますが、建物自体、何せやっぱり実態のない法人が所有してるというところで、なかなか市の物件ではないというところもございます。非常に今のところ解決のほうはなかなか難しくというような状況は承知しておりますけども、なかなか難しいんですけども、非常に重たい課題であるというところで考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

となると結局ずっと先延ばしになって、あのまんまという、そこからはなかなか抜け切れないという非常に残念なことになるんですけども、そうなる今度③番の、いわゆる私は、これ希望してるわけじゃないんですよ。結果的に廃墟マニアのツアーコースに組み込まれてしまうのかなとか、そういう好きな方には、そらいいんでしょうけど、やっぱり地元としては、こうなってほしくない

という逆説的な質問だったんですけれども。そういうことを地域には、残念ですというそういう回答しかない、これは事柄なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

確かにこういったマニアの間で情報が入ってるというのは承知いたしておりますので、なかなかそこまでは出れないというところは承知しておりますので、まずは安全・安心というところが第一かなというふうに今は考えているところです。申し訳ございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

火災のときも警察の方とお話ししたら、結局、被害届がないといろいろ対応ができない。じゃあ被害届、誰出すんだと、出す人がいない。もう本当、負のループというかそういう状況で、でもそこに住んでる人たちは、ずっとあれを眺めながら生活するわけですよ。誰のせいといたら、誰のせいでもないのかもしれませんが、目の前にあるわけですよ。どうせあるのであれば、借りれるのであれば活用して、少し違った形でドローンの練習場だとか重機の掘削の練習場だとか、場合によっちゃ、ちょっと映像撮るときのバックに使う、背景に使う場所にするだとかって、借りることすらも何かできないみたいな話でありまして、これはあまりにもちょっと特殊な事例として、また本当、国とか県にも相談しながら、こういった事例、ほかでもあるかと思うんですよね。そういったものを超法規的なある一定の条件を満たすものは、やっぱり地域に悪影響を与えるものということで改善するような、新しい法律をつくってもらうとこまで考えた、そういった動きというのは、私、必要だと思うんですけども、そういった取組をぜひ考えていただきたいんですが、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

確かにこれは1つの事例だというふうに認識しておりますので、今後また、こういった事例も発生する場合もあるというふうに思っております。ここはやっぱり地方自治体でございますので、全国的な課題でもあるというふうに思いますので、やっぱりそういったところは、県や国のところで対策も含めて、財源も含めて、しっかり声を出していくというところは進めさせてもらいたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

ちょっと平行線になってきたので、これはとどめます。

ただ、地域住民は本当に不安に思っておりますので、どんな手段でもいいので解決の方向に糸口をつかんでいただきたいと思います。

次に、番号3番の新型コロナウイルスのデルタ株の対策についてお伺いします。

今、デルタ株が広がってきて12歳以下、厳密に言えば11歳以下になるんですかね。ワクチンが受けられないということで、今後、この今勢いのある感染状態の中で小学校等に、もし感染が拡大した場合、リモート学習だとかそういう段取りというか、その辺はできてるのかちょっと確認のため教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

富永こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 富永浩文君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（富永浩文君）

お答えいたします。

県のほうも特別警報が発せられまして、市のほうでも昨日それを受けた形で、より緊張感も持った形で学校の教育活動の計画、それから方法などを見直すように指示を出しています。現在は、本当に子供たちの感染が大変厳しい状況でありますので、まず周りの大人が感染しない。そのためにも教職員のほうにも、できるだけワクチン接種を進められるように働きかけも行っておるところであります。

以上です。

大変申し訳ありませんでした。

リモート学習につきましては、タブレットのほうを活用しまして、現在家庭で学習せざるを得ない子供については、先行的に特別な承認を得まして、家庭に持ち帰りながら学習する方向で進めております。

また、休校が長引く場合の措置等については、まず、学校で課題をタブレットに入れながら、家庭に持ち帰り、そこで学習をする。その後、今度リモートができるようにも準備のほうを進めていきながら、今後Wi-Fiなどを使いながらのリモートにも備えていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

義務教育で全員同じ教育を受けるということでポータブルWi-Fiとか、場合によっては対応もお願いしたいなと思います。

あとちょっと先走った話で申し訳ないんですけど、ちょっとネットで調べてみましたけど、アメリカでは、この秋にも12歳以下の接種を行うという報道がありました。感染拡大してからでは意味がないので、12歳以下であっても希望する者への接種拡大、当然、市では無理なんですけども、当然、国・県と連携した中で、そういった情報を収集して、今、新しいまた、何とか株という新し

いのが、また出てきたとかという話もありまして、いちごっこになるのかなって思ってるんですが。とにかく重篤化しないようにそういう意味でのワクチン接種、ワクチンが好きなわけじゃないんですけども、やっぱり生命を守るという一念で、そういう新しい情報、また新しい動きに敏感に対応していただきたいんですけども、特に子供に関してお願いしたいんですけども、その辺いかなもんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺市民部長。〔市民部長 渡辺成剛君登壇〕

○市民部長（渡辺成剛君）

お答えします。

11歳以下の接種というのは、ワクチンに対する治験が行われてないと、安全性が確保されてないということで行っていないわけですけども、今後、治験が行われたり、あるいは例えば3回目の接種とかという話にしても、国が有効性なり、それから接種のタイミングといったことを今検討していると思いますので、国の方針が決まった中で、市としてはそれに対応して、迅速に、適切に対応してまいりますというように考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

(2)番、予防接種キャンセル分の扱いなんですけども、いろんな自治体では、キャンセル分じゃないんですけども妊婦さんへの接種を早めにとということで、千葉県のほうでコロナ感染した妊婦の方が早産して、新生児が亡くなったというニュースがあって、それを受けてなんでしょけども、そういった取組というのは、糸魚川市はどういった対応になってますでしょうか、妊婦さんへの対応というのは。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺市民部長。〔市民部長 渡辺成剛君登壇〕

○市民部長（渡辺成剛君）

お答えします。

糸魚川市の産婦人科におきましては、お医者さんのほうでは、妊婦さんに接種勧奨をするような形でお話をさせていただいているというようにお聞きしておりますし、市といたしましても教育委員会と連携する中で妊婦さん向けにチラシを作成しまして、今、配る予定にしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

次に、これはパルスオキシメーターのところでも聞きますけども、軽症・中等症患者の自宅療養の急増が今心配されておまして、当然、パルスオキシメーターの配備とともに、今、抗体カクテル

療法というのが出てきて、その実施について県内では10か所程度整備すると、ついこないだ報道がありました。そうなった場合、糸魚川市というのは、その施設の自治体に入るのか。ここだと上越市に行かなきゃいけない状況なのか、その辺の県内での10か所程度という表現されたんですが、その辺何か情報はありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今、私のほうでも承知しておるのは、今、保坂議員からご紹介いただいた部分であります。今後、情報を収集しながら、糸魚川、あるいは上越圏域でそういう治療ができるように県と協議をしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

糸魚川市は、比較的何ていうのかな、一気に拡大してるというわけじゃなく、ぼつぼつ、ぼつぼつ出る感じの感染状況なんですけど、ただこれが、時として、時と場所によっては一気に広がる可能性があります。そうなるとうちでも医療機関に入らず自宅療養だとか、あと場合によってはホテル・民宿等をお願いして、療養していただくような格好になります。そうなるとうち、市内で6台のパルスオキシメーターというんですが、これが非常に症状がなくても血中酸素の度数によって分かるというものですから、ぜひそういった借りるのか買い取るのかちょっと分からないですけども、そういった柔軟な対応ができるように、県と連携取ってるというんですが、ぜひこれはやっていただきたいんですけど、その辺再度、積極的な回答をいただきたいんですけど、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今、自宅療養者に対しましても、全てパルスオキシメーターは配備されるというふうに聞いております。

ただ、県の調整本部のほうから送られるようでありますので、少し時間がかかるのかなというふうに考えております。その間、もしこの糸魚川市で所有しておる6台で手当てできるようなことが必要であれば、柔軟に対応していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

次、③番のコロナ禍のサテライトオフィスの特色であります。サテライトオフィス自体は、大変

私も過去、建設産業常任委員会の際に神山町か、行って見てきたんで非常にいいなと思ってるんですが、今回、市では美山の市民クラブハウス美山という設定を考えてみたいんですが、また、駅周辺であるとか、今日も事前に廃校の利用とあってあったんですけども、同じく私も、その廃校であるとか空き家の活用で、川や海に近いところ、山や温泉に近いところ、またスポーツができるところといったサテライトオフィスの展開をお願いしたいんですけども、現時点では、今、美山のところだけでコロナ禍でもサテライトオフィスをやっていく上では何か特色みたいなものを現段階で考えておられますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

現在、美山公園で考えてるサテライトオフィスにつきましては、周辺のキャンプ場ですとか縄文文化、またスポーツ等のアクティビティが充実しているということ、また、ワークスペースに図書等の展示も併せて可能であるということを含めまして、美山プロジェクトの皆様など、民間事業者のプロジェクトが関わることによって、より魅力的な売りになるというふうに考えております。

また、今、駅周辺の民間の事業者につきましては、現在公募を行っているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

ぜひ美山で私も期待してるのが、さっき言ったレジャーと自分の趣味を生かせる。何とかここを成功事例にさせていただいて、市内でいろんなことを点在できるようなサテライトオフィスの先進地になるように、ぜひ頑張ってくださいと思います。

あとそれから、元気応援券の件ありがとうございました、期日延ばしていただいて。

それを申し上げて、私の一般質問を終わりにさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、保坂議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。再開を3時25分といたします。

〈午後3時12分 休憩〉

〈午後3時25分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、和泉克彦議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）